

第5回(仮称)地域活性化発信交流拠点基本計画策定検討委員会 議事録

1. 日 時:令和7年3月21日(金) 10:00~12:00

2. 場 所:役場501会議室

3. 出席者:八木信行委員、伊藤徹哉委員、有村誠委員、田畑和樹委員、浅沼克己委員、
飯塚結花委員、林伊佐雄委員(オブザーバー)、岡崎優委員(オブザーバー)、
中島豪誠委員(オブザーバー)

事務局 総合調整幹 近藤拓一郎 道路交通課 課長 若林崇幸 主幹 古寺克行
主査 小原巴志 主任 白石直也

受託事業者 三井共同建設コンサルタント株式会社

4. 傍聴の可否について

検討委員会の傍聴を可とする。傍聴者 0名

5. 議 事:

- (1)第5回(仮称)地域活性化発信交流拠点基本計画策定検討委員会実施報告
- (2)地域振興方策・事業手法(VFM 算定)について
- (3)機能分担案の検討について
- (4)基本計画書(案)について
- (5)今後のスケジュール

6.議事内容

【議事(1)について】

事務局より第4回検討委員会の実施報告を行い、質疑や意見の有無を確認。

<意見なし>

【議事(2)について】

地域振興方策・事業手法(VFM 算定)について説明し、質疑や意見の有無を確認。

- ・地域振興方策について、「農」だけでなく、「健康」についても強調することが望ましい。
「農のミュージアム」から「農と健康のミュージアム」へ変更することでより健康に寄与した方策を打ち出せると考える。
- ・外周道路や駐車場までの車両動線についても平地林を想像できる仕組みづくりをすることで、より本拠点のコンセプトや強みが増すと考える。
- ・多目的広場の利活用の観点から、キッチンカー等の車両動線も考慮することが望ましい。
- ・地域振興施設は24時間営業とあるが、想定外の利用や防犯対策の観点から、より慎重な

管理運営方法の検討が必要と考える。

- ・大型遊具について、現状として町内の公園は遊具が不足しており、特に大型遊具の設置が強く望まれている。本拠点に魅力的な遊具を整備することで、ファミリー層を中心に集客効果が期待できる。
- ・地域振興施設2階のテラスだけでなく、屋根付き休憩所内の半屋外空間にもテーブルや椅子を設置することが望ましい。

【議事(3)について】

機能分担案の検討について説明し、質疑や意見の有無を確認。

- ・一体型案と分担型案について、上富地域の方々の意見を聞く必要があると考える。
- ・上富小学校について、耐震工事は完了しているのか。
→耐震工事は完了している。
- ・子どもや子育て世代のニーズに応える機能は上富地域拠点に整備されているように思うが、三芳スマートIC隣接拠点は子育て世代をメインターゲットから外したのか。
→両拠点ともに子育て世代の来訪が期待されている。三芳スマートIC隣接拠点についても多目的広場等を有効活用することで子どもや子育て世代が活用できるような機能を検討していく。
- ・上富地域拠点については、町民にとってメリットのある拠点を目指すことが望ましい。子どもをキーワードとし、子育てしやすく住みやすいと感じてもらうため、移住を促進できるような機能・施設があるといい。
- ・三芳スマートIC隣接拠点について、農家レストランや直売所は近隣に多数競合店があるため、差別化を図る工夫が必要である。
- ・上富地域拠点について、落ち葉掃きや芋ほり等の体験イベント後、参加者が飲食や休憩のできる場所を設けることで、町民や来訪者の賑わいの創出が期待できる。
- ・機能分担案を検討するうえで、2拠点間のアクセス性を向上する仕組みづくりが重要である
- ・旧島田家住宅の活用について、現状の機能に加え、新たな機能を持たせることで集客に繋がると考える。
- ・農業センターについて、現在は集会所として利用されているが、拠点整備後は、休憩所として一般開放することも望ましいのではないかと。
→上富地域の方々の意見も踏まえながら慎重に検討していく。
- ・温浴施設について、機能分担案では上富地域拠点に設けられているが、利用ニーズ調査では道路利用者からの要望が多く、設置場所について再考の余地があると考えられる。また、三芳スマートIC隣接拠点到温浴施設を設けることで差別化にも繋がると考える。

【議事(4)について】

基本計画書(案)について説明し、質疑や意見の有無を確認。

<意見なし>

【議事(5)について】

今後のスケジュールについて説明し、質疑や意見の有無を確認。

<意見なし>

以上